

プログラムの概要

団体名称	代表団体：NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）
実施規模	□地域限定のプログラム：1,000万円未満／3年以内に完了するもの <input checked="" type="checkbox"/> 全国展開のプログラム：1,500万円未満／3年以内に完了するもの
実施期間	2018年10月～ 2021年 2月 （2年5ヵ月間）
実施場所	東北、東京、神奈川、関西
タイトル	NGO・市民社会組織のための危機管理・安全管理研修プログラム
目的	本事業は、国際協力 NGO 等が不安定化する各地の治安状況下でより安全に活動を実施できるよう危機管理・安全管理研修を実施し、海外の人道・開発支援活動等での組織及び各派遣者の安全管理能力を向上させることを目的とする。それにより、開発課題の解決等に際し今後も日本の NGO 等がより安全にスタッフを活動地に派遣し、現地コミュニティと信頼関係を築きながら、草の根レベルの活動を継続して行くことに寄与する。
概要	草の根レベルで開発・人道支援活動を実施する日本各地の NGO 等を対象に、安全管理者向け研修（半日）、および現地派遣者向け研修（1日）を実施する。研修内容は、国際的に NGO 向けに開発されたものを日本の NGO の現状に合わせてカスタマイズし、これら研修を未受講の団体が多い現状に鑑み、初級レベルに設定する。
受講対象者及び定員	研修① 安全管理者向け研修：各団体内（NGO 及び他の市民社会組織）の危機管理・安全管理に従事する管理職等：211人 研修② 現地派遣者向け研修：海外に駐在あるいは出張し、現地で事業調整を行う各団体の職員等：211人 成果発表会：参加者 70名
到達目標	1. 研修①の受講者が、団体運営責任者の安全管理上の法的責任（善管注意義務）に関する理解を深め、自団体の経営に活かすようになる。 2. 研修①及び②の受講者が、NGO の安全管理手法について理解を深め団体の安全管理に活用するようになる。
到達目標を測る指標	1-1 研修①受講者が、理事会等の運営責任機関で安全対策に関する改善策・対応の検討を行うことを、ワークショップで作成の行動計画に記載する。（7割以上） 1-2 研修①受講者が、以下の事項の内2つ以上を団体に導入することを行動計画に記載する。（7割以上） 安全リスク評価、スタッフ参加型の危機管理・安全管理計画策定と見直し、危機管理演習、雇用契約における TOR（職務分掌）の明確化、外部の安全管理研修参加、安全管理担当者またはワーキンググループ制度 1-3 以上の計画について、団体内で実際に実施に着手する。（5割以上） 2-1 研修②受講者が、以下の事項の内2つ以上を実施することを行動計画に記載する。（7割以上） 安全リスク評価、事務所・宿所の安全管理計画策定、道路移動の安全計画策定、身体的・心理的健康管理の計画策定、内部ブリーフィング用資料策定 2-2 以上の計画について、団体内で実際に実施に着手する。（5割以上）